



2月15日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

東地申第45号

【丸の内車掌区】団体交渉を行う!(その1)

1. 京葉線・武蔵野線の「ご利用状況に合わせた輸送体系見直し」の内容について明らかにすること。

回答:一部列車の行先の変更や編成両数の変更、および運転本数の見直しを実施する。

組 合

- ・京葉線・武蔵野線でどのような見直しを図ったのか明らかにすること。
- ・海浜幕張のイベントに対応できなのか。
- ・引き続き、ご利用状況を見ていくこと。

会 社

- ・削減では、①朝通勤時間帯、葛西臨海公園駅～新木場駅間 1本削減。②夕通勤時間帯は上り快速線の運転時間を縮小している。西船橋駅折り返しの武蔵野線 8両から 10両に変更している。
- ・イベントに合わせて設定していない。必要であれば臨時列車も考える。
- ・引き続き、ご利用状況は確認していく。

2. 提案箇所体制について、乗務員の日勤が1増となる理由及び業務内容を明かにすること。

回答:年間を通じた平均的な業務量やお客さまのご利用状況を勘案したものである。

組 合

- ・日勤が増えた理由はなぜか、明らかにすること。
- ・1月からのTDL臨も含まれているのか。
- ・乗務としての波動なのか。兼務及び企画業務の波動なのか。

会 社

- ・波動の実績で1増としている。
- ・TDL臨は含んでいない。来年以降になる。
- ・乗務としての波動である。

3. 幕張豊砂駅の利用者見込み及び停車時分を明かにすること。これに伴う他駅・他区間の停車時分・運転時分の変更について明らかにすること。また、必要な教育を行うこと。

回答:ご利用人数については、市川塩浜や二俣新町駅と同程度を見込んでいる。なお、新駅開業区間のほか通勤快速の運転時分を変更している。また、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組 合

- ・新駅開業に伴い運転時分は変更しているのか明らかにすること。
- ・折り返し時間が変更になるところはあるのか。
- ・新駅の停車時分はどうか。
- ・新駅の教育はどのように行うのか。
- ・今後、お客さまの流動やの遅れの状況を見て、運転時分も考えていくことも必要である。

会 社

- ・新駅の区間は変更しているが、新駅以外で通勤快速C速上下線・蘇我駅～海浜幕張駅間で変更している。
- ・運転時分が伸びれば折り返しの時間が短くなることもある。
- ・各駅停車で 25秒にしている。
- ・実際に行くことは考えていない。訓練等で周知していく。
- ・引き続き、状況は見ていく。



2月15日
東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【丸の内車掌区】団体交渉を行う!(その2)

4. 平平・平休8行路(2021Y~2308Y)は約4時間の継続乗務となる。安全面や生理現象などを考慮して、折り返し時分の余裕を持たせること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ・折り返し時間の改善は出来ないのか。
- ・他区との持ち替えは出来ないか。
- ・引き続き持ち替えも含めて検討すること。

会 社

- ・輸送体系のバランスを見て作成している。折り返しには15分10秒取っていて対応できると考えている。
- ・考えたが、持ち替え先が見つからなかった。
- ・引き続き、検討していく。

5.以下の行路は生理現象を考慮し南浦和駅での乗り継ぎ時間は着発20分以上確保すること。

①平日32行路(676E~762E)

②休日38行路明け(便626E~706E)

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ・①676E~762Eの乗り継ぎ時間設定の目的は何か、また他との持ち替えは出来ないか。
- ・①南浦和駅に女性トイレがない。トイレの整備も必要である。
- ・②便626E~706Eについては、目的は何か。
- ・何か出来ないのか。

会 社

- ・南浦和での朝食を目的とした行き先時間の確保が目的である。持ち替えすると、さいたま車掌区が行路が成立しなくなる。
- ・体調不良では遅れを気にせずトイレに行ってほしい。引き続き、検討していく考えである。
- ・②についても朝食を目的とした行き先時間の確保が目的である。
- ・検討したが、新習志野の睡眠時間が削られてしまう。
- ・引き続き、検討していく。

6.平日32行路、休日34行路の拘束時間・乗務キロ・乗務時間ともに他の行路よりも長く、他の行路との差が大きいため、労働時間の平準化を図ること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規定に基づき行路を作成している。

組 合

- ・労働時間の平準化に向け何か変えられないのか。
- ・行路の中身を大幅に替えることはできないのか。
- ・関係各所と調整しながら検討すること。

会 社

- ・武蔵野線の日勤行路では、東京に戻ってくる列車が限られてしまう為、困難である。
- ・丸の内車掌区だけではなく、武蔵野線全体の見直しが必要になる。
- ・引き続き検討していく

その3へ続く



2月15日
東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【丸の内車掌区】団体交渉を行う!(その3)

7. 平日の南浦和駅時刻 18 時台の下り列車は混雑が激しく遅延が常態化しており、積み残しが発生するほど混雑が激しいため、増発や列車間隔を調整すること。

回答: 列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮し作成している。

組 合

- ・南浦和駅の実態調査はしたのか。
- ・お客様の乗降に時間が掛かっている現状である。
- ・しもうさ号の乗車率が他に比べて少ないので、入れ込みの時間を調整できれば緩和出来ると思うが。

会 社

- ・ホーム上は混雑しているが、ドア付近にお客さまが滞留していて時間が掛かっている。
- ・遅延は南浦和駅前から発生しているので、時間を要すると認識している。
- ・一つの材料として、引き続き検討していく。

8. 武蔵浦和駅の朝通勤時間帯は上りホーム先頭車付近が大変混雑するため駅員・テンポラリースタッフなどの係員を配置し安全を確保すること。

回答: 引き続き、他支社の体制については、関係個所に伝えていく。

組 合

- ・朝通勤時間帯の係員について大宮支社の回答はどうか。
- ・引き続き、現場の声を大宮支社に伝えること。

会 社

- ・配置までには至らないが、朝通勤帯で一定程度の混雑は認識している。引き続き状況を見ていくとの回答である。
- ・引き続き伝えていく。

9. 在宅休養時間確保の観点から、出勤日当日に自宅から出勤できる昼間帯の日勤行路を増やすこと。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ・昼間帯の日勤行路を増やすことは出来ないか。
- ・他の時間帯で日勤は増やせないのか。
- ・検討課題である認識はあるのか。

会 社

- ・京葉線・武蔵野線とあるが、どうしても列車が限られてしまう。
- ・効率的な運用の中で、増やす事は出来ない。
- ・検討課題として、引き続き検討していく。

その4へ続く



2月15日
東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【丸の内車掌区】団体交渉を行う!(その4)

10. 新人車掌の育成、安全安定輸送確保の観点から、行路数の増および現在丸の内車掌区が宿泊していない箇所に宿泊する行路を設定すること。

回答: 列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ・泊地変更など何か検討できたか。
- ・他区と比べると行路数の割合に差があり、行路数・泊地が偏っている。改善を求める。
- ・育成は必要であり、活用できる工夫をすること。

会 社

- ・泊地が増やせれば教育の観点からも良いが、輸送体系も行路数も決まっており今の行路・泊地がベストと考えている。
- ・それぞれのバランスを見て行路数を決めている。
- ・引き続き検討していく。

【設備】

1. 二俣新町駅2番線はホーム先頭車付近には屋根がなく、夜間はホーム上が暗く確認しづらいため改善すること。

回答: 現時点で二俣新町2番線ホームの先頭車付近に屋根と照明を設置する計画はないと聞いている。

組 合

- ・ホーム上の暗さを改善する計画はあるのか。
- ・どういう理由で設置できないのか。
- ・予算が掛からない工夫も含めて引き続き改善を求める。

会 社

- ・現時点では設置の計画はないと聞いている。
- ・比較的乗降者数が少なく、総合的に判断している。
- ・引き続き伝えていく。

2. 新小平駅設備について、以下の改善を図ること。

- ① 上りホームの視認性向上のため照明の増設とITVを車掌寄りに移設すること。
- ② 上下ホームともに駅社員の放送、発車ベルともに聞きづらいため、車掌位置付近にスピーカーを設置すること。

回答: 現時点では新小平駅のホームの証明、ITV、スピーカーについて、増設及び移設する考えはないと聞いている。

組 合

- ・①ITVの技術があれば、改善できるのではないのか。
- ・②スピーカー設置について進展はあるのか。
- ・厳しいのであれば車椅子のお客さまの乗降位置の検討もお願いしたい。

会 社

- ・ITVについては、八王子支社に引き続き伝えていく。
- ・スピーカーの新設と音量の拡大が困難であり、状況は変わっていない。
- ・お客さまの要望の位置もあり難しいが、八王子支社に伝えていく。

その5へ続く



2月15日
東地申第45号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【丸の内車掌区】団体交渉を行う!(その5)

3. 東京駅の乗務員用トイレを増設すること。また、折り返し設備のある駅についてはトイレを整備すること。

回答:東京駅の乗務員用トイレを増設する計画はない。また、折り返し設備のある駅に乗務員用のトイレを新たに整備する計画はないと聞いている。

組 合

- ・トイレを増設する計画はないのか。
- ・吉川美南駅・東所沢駅・南越谷駅は既存のトイレは使えないのか。
- ・新習志野駅の2番線・3番線ホーム蘇我方は共用で一箇所しかないのので男女別にする。
- ・使えるものは使えるように検討すること。

会 社

- ・今の所、計画はない。
- ・意見は承ったので、伝えていく。
- ・意見は伝えていく。

4. 武蔵野線の車両に車外スピーカーを整備すること。また整備が完了するまではワイヤレスマイクを行路数分用意し携行できるようにすること。

回答:現段階において車外スピーカーを整備する考えはないと聞いている。なお、現状の設備で対応可能と考えている。

組 合

- ・車両スピーカーの整備はできるのか。
- ・貸し出すのであれば、全行路で貸与すること。
- ・異常時には、駅員との対応にワイヤレスでの対応が必要である。

会 社

- ・車両整備は困難である。ワイヤレスについては、12月1日から希望する方には、貸与している。
- ・朝通勤時間帯の一部時間帯が必要であるかと思うが、車内放送でも代用は可能である。
- ・必要に応じて検討していく。

安全・安心・ゆとりある職場を実現しよう!

